

「がまんする」

■エピソード

4歳のみずきちゃんには中学1年生のおるさんという兄がいます。
 とおるさんは入学してからバスケット部に所属して毎日練習に励んでいます。
 みずきちゃんはお兄ちゃんが好きで、以前はよく遊んでもらっていましたが、
 中学生になった今はなかなか遊んでくれなくなりました。

お母さんのさなえさんは仕事の都合で、みずきちゃんを保育所の延長保育や
 近所の祖母に預ける事が多くなっています。

休日にさなえさんと祖母とで大型ショッピングセンターに行った
 みずきちゃんは、以前からほしかったままごとセットを見つけまし
 た。

みずき：「お母さん、このおままごと、買って!」

さなえ：「今日はお誕生日じゃないでしょ。また、今度ね。」

みずき：「イヤだ! 買ってほしい!」

いつもはわりと聞き分けの良いみずきちゃんですが、このときは、
 なかなかあきらめず、座り込んで動きません。さなえさんは困って
 しまいました。



祖母：「あらっ、みずきちゃん、いつも賢いのになにをしたの?
 このおままごとが欲しいの? そんなに欲しいなら、
 買ってあげようか。」

さなえ：「お母さん、それは困ります。わがままになります
 から。」

そのやりとりを聞いていたみずきちゃんは、

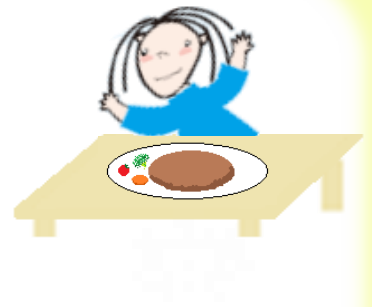
みずき：「じゃあ、お誕生日に絶対買ってね!」

と言って、やっと立ち上がりました。

さなえ：「みずき、すごいわ。偉いね!」

みずきちゃんは得意そうに顔をまっすぐにあげて歩いて行き
 ました。

その夜、さなえさんは、みずきちゃんが大好きなハンバーグを作り、一緒に食べました。みずきちゃんは今日のできごとが無かったかのように喜んで食べていました。



さなえさんは、とおるさんに今日の話をしました。

とおる：「みずきはおばあちゃんに気持ちを分かってもらえてうれしかったのかな。」

さなえ：「そうね。私一人だったら、どうしたら良いか分からなくなるところだったわ。でも、やっぱりがまんは必要よね。」

さなえさんは子育てがだんだん難しくなっていくのを感じていました。



グループワーク

- ① エピソードを読んで気になるところはどこでしょうか？
- ② さなえさんの思いについて、どう感じましたか？
- ③ どのような「がまん」が、成長に大切だと思いますか？